【第三号議案】

第60年度事業計画書（案）

＜基本方針＞

2023 年度はコロナの 5 類への移行に伴い、23 年 10-12 月期の実質 GDP は年率+0.4％と、当初発表の速報値-0.4％から上方修正された。一方で、GDP の 6 割を占める個人消費は-0.3％となっており、昨今の物価上昇が影響しているものと予想される。2023 年度は、半導体の供給制約の緩和等に伴う輸出の増加やインバウンド需要の回復等から外需がけん引し、GDP 成長率は実質で 1.6％程度、名目で 5.5％程度を見込む。

2024 年度は、前年度末から日経平均株価が史上最高を更新し、2024 年春季労使交渉で賃上げ率の平均値が+5.28％と昨年の+3.80％を大幅に上回り、33 年振りの+5％超えとなった。また、円安の影響もあり、昨年のインバウンド消費が過去最高の 5 兆円を超えた。世界的な地政学リスクや日銀のマイナス金利政策解除がどのような市場にどのような影響を及ぼすか注視する必要はあるが、政府の経済見通しでは、「デフレ完全脱却のための総合経済対策」の進捗に伴い、個人消費や設備投資等の内需がけん引する形で、2024 年度のＧＤＰ成長率は実質で 1.3％程度、名目で 3.0％程度を見込む。

こうした中、ジャグラは 58 年度から「絆をカタチに　今こそグラフィックサービス業へ転換しよう」をスローガンに掲げ、“創注”をテーマに、ジャグラコンパクト DX 事業を推進してきた。会員企業だけでなく、メーカー、商社のパートナー企業にもご協力いただき、ジャグラ会員企業の課題を業界全体の課題ととらえて、その解決策を模索した。ジャグラコンパクト DX 事業にとどまらず、サスティナブル委員会、ジャグラコンテストをはじめとするコンテスト、DTP&Web スクール、地協支部活動支援、プライバシーマーク事業も意欲的に事業を推進してきた。

今期は新体制のもと、価格競争からの脱却を図り、新たなグラフィックサービスの価値を訴求し、会員各社の競争力を高めるべく、58 年度、59 年度の 2 年間、各委員会等で開発、検討を重ねてきた一つひとつの事業を引き続き実施する。その成果を結実させ、会員の皆様へと役立つ情報として周知するフェーズへと移行していく。具体的には大阪の JP 展、東京の page などの展示会出展と合わせてジャグラ公式アプリ、ジャグラコンパス―セーフティマップの周知、普及拡大、会員向け MIS の開発などを推進する。以て、グラフィックサービス業への転換の促進と会員各社の創注実現をサポートするとともに、ジャグラの魅力を高めることで会員増強にも注力していく。

【個別事業】

［１］正副会長会議

1. 正副会長会議

① 総務全般
② 財政全般
③ 委員会総括
④ 会館運営
⑤ 災害時・非常時の対応
⑥ その他

［２］広報事業

1. 広報委員会

① 渉外活動全般（ジャグラホームページの運営、ニュースリリースの発行など）
② 渉内活動全般（機関誌の企画・編集・発行、メールマガジンなど）
③ ジャグラ BB 運営（ジャグラ BB の企画・運営、教育研修など）

［３］ジャグラコンパクト DX①

1. 生産性向上委員会

① POD 機とワークフローを結んだ生産工程の自動化研究と事例紹介

2. MIS 研究委員会

① 実数値管理（スループット調査）による経営強化の啓蒙活動
② MIS（経営情報システム）の廉価版・簡易版の研究、開発

［４］ジャグラコンパクト DX 事業②

1. 地域活性化委員会

① ジャグラコンパス―セーフティマップのビジネス提案、会員利用促進、ツール提供
② 会員向けの地域活性化ツール、ビジネスの研究、開発、提供

2. 業態進化委員会

① マーケティングオートメーション（MA）やドローン撮影、Web 校正などの最新ツールの研究、調査
② 会員向けデジタルツール、ビジネスパッケージの開発、提供

［５］クロスメディア研究事業

1. ジャグラコンテスト委員会

① ジャグラコンテスト運営全般
② ジャグラコンテスト運営のための専門委員会議
③ DTP オペレーターの継承すべき高度な技能向上を図る

2. DTP 教室運営委員会

① ジャグラショートカットの運営全般
② DTP や Web、動画配信など最新技術教育の実施

［６］コンテスト事業

1. 年賀状デザインコンテスト委員会

① 年賀状デザインコンテストの運営
② 年賀状を通じたデザインレベル向上
③ 新規コンテスト事業の検討

2. ジャグラ作品展委員会
① ジャグラ作品展の内容を検討
② ジャグラ作品展の審査運営
③ 作品展を通じて企画提案、デザイン力向上を図る

［７］組織強化事業
1. サスティナブル委員会
① SDGs を中心に業界、会員企業のサスティナビリティ追求のための調査研究
② GP 認定制度普及をはじめとした環境への取り組み推進

2. 地協・支部活動支援委員会
① 組織拡大、会員増強
② 地協の活性化
③ マスターズクラブ、SPACE-21 との連携

3. SPACE-21
① SPACE-21 のバックボーンとなる活動・体制の確立を目指す
② 全国各地域青年部の活性化に注力

［８］個人情報保護事業
1. 個人情報保護委員会
① 個人情報保護の推進
② プライバシーマークの普及

［９］その他
1. マスターズクラブ
① ジャグラ役員経験者を中心として構成する
② ジャグラ活動を補佐、支援する

2. 日本自費出版文化賞
① 日本自費出版文化賞を主催する
② 同賞の運営を自費出版ネットワークに委託する

3. プライバシーマーク審査会
① プライバシーマークの審査機関として活動する